

これだけはやっておくべき4つのこと

災害時、まずは自分の命は自分で守る「自助」が重要です。
いざ!というときに慌てることのないよう、普段からの備えを充実させ、早めの避難行動ができるようにしておきましょう。

ハザードマップの確認



ハザードマップとは、災害発生時の危険と思われる箇所や被害の想定、避難場所などを地図にまとめたものです。災害種別ごとに確認しておきましょう。

- 洪水ハザードマップ
- 内水ハザードマップ
- 津波ハザードマップ
- 高潮ハザードマップ



- 確認事項
- 浸水のおそれがある場所
 - 浸水の深さ
 - 避難先の場所
 - 避難経路

- 地震ハザードマップ

- 土砂災害ハザードマップ

- 確認事項
- 震度
 - 液状化の危険度
 - 建物の全壊率
 - 避難先の場所

- 確認事項
- 土砂災害の危険箇所、区域
 - 避難先の場所
 - 避難経路

ハザードマップを見るときポイント

- 自宅、学校、勤務先及びその周辺で、どれくらいの被害の恐れがあるかを確認しましょう。
- 自分(家族)で決めた避難先の位置と、避難経路を確認しましょう。

(例)洪水ハザードマップ



①色が付いている場所は被害を受ける恐れがあります。
②色分けて被害の程度を表しています。(洪水の場合、黄色は0.5m未満、薄ピンク色は0.5~3.0m未満の浸水想定)

各種ハザードマップは市役所での配布の他、ホームページでも確認できます。

情報収集手段の準備

災害が起こったときに必要な情報を入手できるようにしておくことが大切です。複数の情報収集手段を準備しておきましょう。

● 佐賀市防災ポータルサイト

緊急情報や防災監視カメラによる道路、河川の状況をお知らせします。

佐賀市防災情報システム



● 佐賀市防災総合システム「さがんメール」

登録したメールアドレス宛に緊急情報を配信します。

コチラのQRコードから登録!



● 佐賀市LINE公式アカウント(学校情報、消防向け情報を除く)

LINEでも「さがんメール」の情報を配信しています。

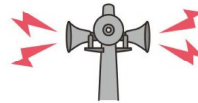
佐賀市公式アカウントの友だち登録はコチラから!

LINEの「友だち追加」から「ID検索」(@sagacity)でも登録可能!



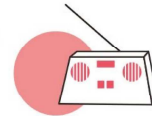
● テレビ・ラジオによる放送

● 防災行政無線による放送



● 佐賀市防災ハイブリッドラジオによる放送

電源に繋いでおくと、災害時に自動で起動します。



● 緊急速報メールによる強制情報発信

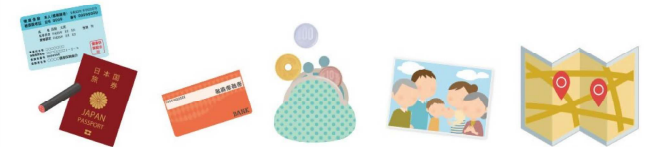
携帯電話会社が利用者に対し、強制発信します。



※メールやLINEで登録いただいた個人情報は、情報発信以外には利用いたしません。

非常持ち出し袋の準備

災害時に最低限必要なものは非常持ち出し袋に入れておきましょう。



証明・記録書類 通帳 小銭 家族の写真 マップ



救急セット 雨具 ライター ろうろうく 軍手 懐中電灯

最低3日分の備蓄を各家庭で行う「市民備蓄」も忘れずに!

※あくまで一例です。必要に応じて、掲載している以外のものも用意しておきましょう。

健康管理の徹底

日頃から健康維持に努めましょう。

少しでも体調に不安がある場合は、医療機関に相談しましょう。



うがい 手洗い 手の消毒 マスク



十分な睡眠 バランスの取れた食事